

ポートフォリオ診断 AI の衝撃

～新 NISA 開始！投資ポートフォリオに AI は役立つのか～

ライフデザイン研究部 主席研究員 柏村 祐

1.投資ポートフォリオの調整は難しい

2024年1月から新NISA制度が始まり、投資に対する関心が高まっている。新NISAは、非課税で投資を行うことができる制度で、特に長期的な資産形成に適している。この制度を利用することで、株式や債券など様々な投資商品を組み合わせる資産形成を行える。しかし、一般の人々にとって、様々な投資商品を組み合わせる投資ポートフォリオの調整は容易ではない。ポートフォリオとは、株や債券など、様々な投資商品を組み合わせたもので、これを適切に管理するには、投資に関する知識、経済状況への理解が必要である。今般の新NISA制度導入によって、ポートフォリオの構築と管理がより重要になっており、投資に対する理解を深めることが求められている。

経済の状況や世界情勢が市場に大きな影響を与えるため、市場の動きを常に注意深くみて、適切な投資戦略を立てることが必要である。しかし、投資家一人ひとりのリスク許容度や投資目標は異なるため、すべての人に合った1つの最適なポートフォリオ戦略は存在しない。また、戦略を立てた後のポートフォリオの管理も難しい。投資の多様化はリスク分散の方法として有効だが、どの資産にどれだけ投資するか決定、そしてそのバランスを維持することは、市場の動向や個人の状況を踏まえて慎重に行う必要がある。

以上の通り、戦略の立案からその管理に至るまで、投資には専門知識と継続的な管理が求められるが、そのような投資ポートフォリオ管理を支援するポートフォリオ診断AIが登場している。このAIは、高度なアルゴリズムと大量の市場データを利用してポートフォリオを分析し、最新の投資情報に基づく最適な提案を行う。さらに市場の変動をリアルタイムで監視し、投資家のリスク許容度や目標に合わせて、最適化された投資戦略を提供する。

本稿では、このポートフォリオ診断AIの実態と可能性について、具体的な事例を交えて考察する。

2.ポートフォリオ診断AIの実態

まず、実際に想定される投資家のプロフィールとポートフォリオをAIに読み込ませて診断を行った。想定した投資家像は以下の通りである（図表1）。

図表 1 想定される投資家のポートフォリオ(単位:万円)

投資家	年齢	現金	株式	債券	金	コモディティ
高橋 真一郎	45 歳	100	国内大型株 280 海外株 120	国内債券 120 海外債券 80	50	エネルギー関連 50
佐藤 愛子	30 歳	50	テクノロジー関連株 240 消費財株 60	国内債券 100	25	なし

資料:筆者作成

1つ目の事例の高橋さんの情報について、ポートフォリオ診断AIに資産保有状況を読みこませ診断を指示したところ、AIは高橋さんに関する追加情報として投資予算、リスク許容度、投資期間、主な財務目標をたずねてきた。そこで「投資予算がないこと」「リスク許容度は低いこと」「投資期間は60歳までの15年」「主な財務目標は退職準備」と回答した。その結果ポートフォリオ診断AIは、現在のポートフォリオとリスク許容度と投資期間、主な財務目標を踏まえたアセットアロケーション(資産配分)の提案、特定の投資オプション、期待されるリターン、リスク評価、リバランス戦略ごとにわかりやすい診断を提供した(図表2)。

図表 2 AIによる提案概要(高橋さんの例)

アセットアロケーションの提案

リスク許容度が低いことと、退職準備が目標であることを考慮すると、より安定した資産への投資が適しています。以下のような配分を提案します：

- ・ 株式：現在の40%から30%に減少
- ・ 債券：現在の40%から50%に増加
- ・ 現金：現在の13%から15%に増加
- ・ 金：現在の7%を維持

特定の投資オプション

- ・ 株式：国内外の株式比率を再考し、より低リスクな株式に焦点を当てる。
- ・ 債券：高格付けの国内債券に集中し、海外債券の比率を減らすことを検討。

期待されるリターン

- ・ リスクが低いポートフォリオは、リターンも比較的低くなる傾向があります。年間3%~5%程度のリターンを目指すのが現実的です。

リスク評価

- ・ 株式の割合を減らすことで市場の変動リスクを低減します。
- ・ 高格付け債券への集中により、デフォルトリスクを低減。

リバランス戦略

- ・ 年に1回、または市場の大きな変動があった場合にポートフォリオのバランスを見直す。
- ・ 長期的な目標に沿って、定期的にあセットアロケーションを調整。

以上の提案は、現在の市場状況、個人のリスク許容度、投資目標に基づいています。定期的なレビューと適応が重要です。また、専門の金融アドバイザーの意見を求めることも検討してください。

資料: ChatGPTより筆者作成

また、ポートフォリオ診断AIに、リバランスしたポートフォリオ案の作成を依頼したところ、AIは、高橋さんの要望に基づいた新しいアセットアロケーション、各アセットの割合と金額、調整の概要、注意点を示した(図表3)。なお、リバランスとは、投資ポートフォリオ内の各資産の割合を、元の投資戦略や目標に合わせて再度調整することを意味する。

図表3 AIが作成したポートフォリオ案(高橋さんの例)

新しいアセットアロケーション

- 株式：30%
- 債券：50%
- 現金：15%
- 金：5%

各アセットの割合と金額

1. 株式 (30%)
 - 総額： $¥7,500,000 \times 30\% = ¥2,250,000$
 - 国内株式： $¥2,250,000 \times 70\% = ¥1,575,000$
 - 海外株式： $¥2,250,000 \times 30\% = ¥675,000$
2. 債券 (50%)
 - 総額： $¥7,500,000 \times 50\% = ¥3,750,000$
 - 国内債券： $¥3,750,000 \times 80\% = ¥3,000,000$
 - 海外債券： $¥3,750,000 \times 20\% = ¥750,000$
3. 現金 (15%)
 - 総額： $¥7,500,000 \times 15\% = ¥1,125,000$
4. 金 (5%)
 - 総額： $¥7,500,000 \times 5\% = ¥375,000$

調整の概要

- 株式の削減：現在の40%から30%に減少し、より安定した資産へのシフトを図ります。
- 債券の増加：現在の40%から50%に増加させ、特に国内債券に重点を置きます。これにより、ポートフォリオの安定性が高まります。
- 現金保有の増加：市場の不確実性に対応し、流動性を確保します。
- 金の割合：現在の割合を維持し、多様性と保全性を確保します。

注意点

- この提案は、一般的な指針に基づいており、個々の状況や市場の変動に応じて調整が必要です。
- 投資はリスクを伴います。専門の金融アドバイザーと相談することをお勧めします。
- 定期的なレビューとポートフォリオの調整が重要です。特に大きな市場変動や個人の状況の変化があった場合には、ポートフォリオの見直しを行うことをお勧めします。

資料：ChatGPTより筆者作成

次に2つ目の事例として、佐藤さんの情報について、ポートフォリオ診断AIに資産保有状況を読みこませ、診断を依頼したところ、AIは、佐藤さんに関する追加情報として投資予算、リスク許容度、投資期間、主な財務目標をたずねてきた。そこで、「投資予算が200万円あること」「リスク許容度は高いこと」「投資期間は退職まで」「主な財務目標は家の購入」と回答した。その結果、ポートフォリオ診断AIは、アセット配分、具体的な投資オプション、期待されるリターン、リスク評価、リバラ

ンス戦略ごとにわかりやすい診断を提供した（図表4）。

図表4 AIによる提案概要（佐藤さんの例）

アセット配分

- 高リスク許容度のため、成長志向の株式に焦点を当てることを推奨します。
- ポートフォリオをより多様化するために、国際株式や新興市場の株式を追加することを検討してください。
- 安定したリターンを得るために、債券と金の割合は現状維持またはわずかに増加することを提案します。
- 不動産投資信託（REITs）やインフラファンドを加えることで、分散と潜在的な収益を増やすことができます。

具体的な投資オプション

- 国際株式: 米国、欧州、アジアの株式市場に分散投資するためのインデックスファンドやETF。
- 新興市場株式: BRICS諸国（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）などの成長が期待される市場に焦点を当てたETF。
- 不動産投資信託（REITs）: 安定した収益をもたらすことが期待される国内外の不動産に投資するファンド。
- インフラファンド: 社会インフラに投資し、長期的な安定収益を目指すファンド。

期待されるリターン

- 高リスク許容度に基づき、長期間で年平均6%~10%のリターンを目指します。
- ただし、市場の変動によりリターンは保証されません。

リスク評価

- 株式市場の変動リスクが高く、特に技術株は市場のセンチメントに大きく左右されることがあります。
- 国際市場への投資は為替リスクを伴います。
- REITsとインフラ投資は景気動向に敏感です。

リバランス戦略

- 年に1回または市場状況が大きく変わった場合にポートフォリオを見直すことを推奨します。
- 目標アセット配分から大きく乖離した場合は、バランスを取り直します。

資料: ChatGPTより筆者作成

ポートフォリオ診断AIに、リバランスしたポートフォリオ案の作成を依頼したところ、AIは、佐藤さんの要望に基づいた再バランス後のポートフォリオ案、リバランスのポイント、リバランスの目的、注意点を示した（図表5）。

図表 5 AI が作成したポートフォリオ案 (佐藤さんの例)
再バランス後のポートフォリオ案 (合計: ¥6,750,000)

1. 株式 (¥4,050,000 - 60%)
 - テクノロジー関連株: ¥1,500,000 (22%)
 - 消費財株: ¥375,000 (6%)
 - 国際株式 (米国、欧州、アジア): ¥1,200,000 (18%)
 - 新興市場株式 (BRICS国): ¥975,000 (14%)
2. 債券 (¥1,350,000 - 20%)
 - 国内債券: ¥1,000,000 (15%)
 - 国際債券: ¥350,000 (5%)
3. 金 (¥675,000 - 10%)
4. 不動産投資信託 (REITs) (¥540,000 - 8%)
 - 国内外の不動産投資信託
5. インフラファンド (¥135,000 - 2%)

リバランスのポイント

- 株式の割合を高めてリスク許容度に合わせ、国際株式と新興市場株式を追加して多様化を図ります。
- 債券は安定した収益源として保ち、国際債券を追加してリスク分散を図ります。
- 金はインフレリスクヘッジとして維持します。
- 不動産投資信託 (REITs) とインフラファンドを追加して、収益源の多様化を図ります。

リバランスの目的

- このリバランスは、高いリスク許容度を反映し、長期的な資本成長を目指すことを目的としています。
- 家の購入という目標に向けて、ポテンシャルが高いがリスクも伴う資産に重点を置きます。

注意点

- 投資市場は不確実性が常に存在し、投資の価値は増減します。
- 定期的なレビューとリバランスが重要です。市場の状況や個人の目標に応じて、適宜調整を行う必要があります。

資料: ChatGPTより筆者作成

これら2つの事例から、投資家の属性（年齢、資産等）に加え、投資予算、リスク許容度、投資期間、目標といった個人の状況に応じた情報を入力することで、その人に合ったきめ細かな診断を受けられることがわかる。特にリスク許容度の違いによって提案されるポートフォリオの内容が大きく異なる点は興味深い。低リスクを好む高橋さんには比較的安定した収益が期待できる債券や配当株への配分が提案されている。一方、リスクをある程度許容できる佐藤さんには、リターンが大きい反面ボラティリティも高い新興国株や不動産関連投資の比重が高くなっている。このようにポートフォリオ診断AIは、投資家の個別事情に柔軟に対応したポートフォリオ設計ができる。また、具体的な数値とともに結果が示されていることもポイントである。AIの出力

結果が単なる抽象論ではなく、実際に使える形で提供されている。特にリバランス後の新しいポートフォリオ案は、各資産の目標配分と金額が明示され理解しやすい。

3.ポートフォリオ診断 AI の未来展望

以上のように、ポートフォリオ診断 AI は個々の投資家の状況に合わせた資産配分の提案やリバランス戦略を効果的に行う能力をもっている。特に 2024 年 1 月から始まった新 NISA 制度において、初めて投資を行う人々にとって、このような AI 診断ツールは大きな助けとなる。新 NISA を利用して長期的な資産形成を目指す投資家は、市場の複雑さやポートフォリオ管理の難しさに直面するが、AI 診断はこれらの課題に対処する有効な方法を提供する。

しかしながら、AI 診断を利用する際に留意すべき点もある。AI はアルゴリズムに基づいて提案を行うため、個人的な状況や市場の動きを完全に把握できるわけではない。したがって、AI の提案を参考にする一方で、投資家自身も市場動向や個々の状況についての理解を深めることが重要である。

AI 技術の進歩により、ポートフォリオ診断は今後さらに高度化することが期待される。現在の AI は個人のリスク許容度や投資目標に基づいて提案を行っているが、将来的には投資家のライフスタイルや価値観、感情的な要素までも考慮に入れることが可能になるだろう。たとえば、環境に配慮した投資や社会的責任を重視する投資など、個々の価値観に合致したポートフォリオが提案されるようになるのではないかと期待される。

また、AI 技術の進歩は、市場予測の精度も格段に向上させることが期待される。従来の市場分析は過去のデータに依存していたが、AI の進化により、よりダイナミックでリアルタイムな市場分析が実現し、突発的な市場の変動や異常事態にも迅速かつ適切に対応できるようになるかもしれない。さらに、ポートフォリオ診断 AI の発展は、新しい投資の形態を創出する可能性もある。たとえば、AI が個々の投資家のポートフォリオを連携させ、共同投資のような新たな機会を提案することも考えられる。

ポートフォリオ診断 AI の未来は、テクノロジーの進化と倫理的なガイドラインのバランスを取ることにかかっている。AI がもたらす利便性と効率性は魅力的であるが、人間の直感や倫理観との調和が求められる。このバランスを適切に保つことが、ポートフォリオ診断 AI の健全な発展と、投資市場全体の持続可能な成長に不可欠だとはいえるだろう。